

平成22年度 J I S Z 3841による
炭酸ガス半自動溶接技能者評価試験及び準備講習会

(社)神奈川県溶接協会は、標記講習会及び評価試験を実施しております。この試験は日本工業規格(JIS)に基づいて実施されている溶接技術資格です。半自動溶接作業に携わる方はこの資格を取得されますようお勧めいたします。国際品質保証(ISO 9000s)や、PL法(製造物責任)対策としても品質の向上は欠くことの出来ないものです。溶接技術の向上を目指してこの資格を取得されますようご案内いたします。

試験の内容につきましては裏面をご覧ください。

1. 期 日 期日は下記のとおり。時間は開始9時、終了16時30分です

		学科講習会	実技講習会	試験日
2010年	2月	2日(火)	3日(水)又は 4日(木)	5日(金)
	4月	6日(火)	7日(水)又は 8日(木)	9日(金)
	5月	11日(火)	12日(水)又は 13日(木)	14日(金)
	6月	1日(火)	2日(水)又は 3日(木)	4日(金)
	8月	3日(火)	4日(水)又は 5日(木)	6日(金)
	10月	5日(火)	6日(水)又は 7日(木)	8日(金)
2011年	11月	29日(月)	30日(火)又は 12/1(水)	2日(木)
	2月	1日(火)	2日(水)又は 3日(木)	4日(金)

2. 会 場

川崎市川崎区本町2-11-19 (財)日本溶接技術センター

3. 申込み方法

* 講習会は下記申込書に記入し受講料を添えてご持参又は郵送ください。
 * 試験は申込書に記入し試験料金を添えて、試験予定日の3週間前までにご持参ください。
 申込書は電話連絡でお送りいたします。
 * 申込み受付後に受講票及び受験票を差し上げます。

4. 申 込 先

川崎市川崎区本町2-11-19 (社)神奈川県溶接協会
 電話 044-233-8367 FAX 044-246-5265
 E-mail: wes kana@aiores.ocn.ne.jp

5. そ の 他

実技講習及び試験には作業着、靴、革手袋、保護眼鏡等を持参してください。

6. 講習会種目及び受講料

(下記料金にはテキスト代・消費税が含まれています)

記号	種 目	協会会員料金(円)	非会員料金(円)
A	学科講習のみ	8,400	11,550
B	学科講習及び実技講習(薄板3.2mm)	22,400	26,550
C	" " (中板9.0mm)	24,400	28,550
D	" " (厚板19mm)	26,400	30,550
E	実技講習のみ (薄板3.2mm)	14,000	15,000
F	(中板9.0mm)	16,000	17,000
G	(厚板19mm)	18,000	19,000

上記の金額には、評価試験の料金は含まれていません。

7. 受験料金 : 受験料金はホームページで見ることが出来ます。アドレス <http://www.jweskanagawa.jp/>

料金振込みの場合

横浜銀行川崎支店 普通預金 2200225 (社)神奈川県溶接協会

炭酸ガス半自動溶接技能者評価試験受験準備講習会申込書

学科希望	実技希望日	受講者名	受講種目(記号)	評価試験種目	試験日
月 日	月 日		A, B, C, D, E, F, G		
月 日	月 日		A, B, C, D, E, F, G		
月 日	月 日		A, B, C, D, E, F, G		
月 日	月 日		A, B, C, D, E, F, G		

会社名

料金振込みの場合、予定日を記入してください。

月 日振込み予定

住 所(郵便番号)

担当者

電 話

試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
薄板（裏当て金なし）	基本級 SN - 1 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 3.2
	専門級 SN - 1 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN - 1 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN - 1 O	上向き	開先はI型又はV型
	専門級 SN - 1 P	パイプ（管）	100A
中板（裏当て金あり）	基本級 SA - 2 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SA - 2 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SA - 2 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SA - 2 O	上向き	開先はV型
	専門級 SA - 2 P	パイプ（管）	150A
中板（裏当て金なし）	基本級 SN - 2 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SN - 2 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN - 2 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN - 2 O	上向き	開先はV型
	専門級 SN - 2 P	パイプ（管）	150A
厚板（裏当て金あり）	基本級 SA - 3 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SA - 3 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SA - 3 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SA - 3 O	上向き	開先はV型
	専門級 SA - 3 P	パイプ（管）	200A
厚板（裏当て金なし）	基本級 SN - 3 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SN - 3 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SN - 3 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SN - 3 O	上向き	開先はV型
	専門級 SN - 3 P	パイプ（管）	200A
中板（裏当て金なし） 組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 その後半自動溶接	基本級 SC - 2 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 9
	専門級 SC - 2 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SC - 2 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SC - 2 O	上向き	開先はV型
	専門級 SC - 2 P	パイプ（管）	150A
厚板（裏当て金なし） 組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 その後半自動溶接	基本級 SC - 3 F	下向き（板）突き合わせ溶接	板の厚さ 19
	専門級 SC - 3 V	立向き	200×125×2枚
	専門級 SC - 3 H	横向き	溶接方向が200です
	専門級 SC - 3 O	上向き	開先はV型
	専門級 SC - 3 P	パイプ（管）	200A

この他にセルフシールドガスアーク溶接（ノーガス）の資格が別にあります。

資格は中板はSS - 2 F・2 V・2 H・2 O・2 P、厚板がSS - 3 F・3 V・3 H・3 O・3 Pです。

試験内容は上記のSA - 2及びSA - 3と同じです。

1 F・2 F・3 Fの記号の資格は基本級といいます。最初はこの資格を取得してください。その後、専門級（V・H・O・P）が受けられます。但し、基本級合格を条件にして専門級も同時に受験できます。

学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験があります。講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。

受験資格：基本級の試験は、経験1ヶ月以上の者、専門級の試験は、経験3か月以上の者でいずれも15才以上です。

試験材の見取り図

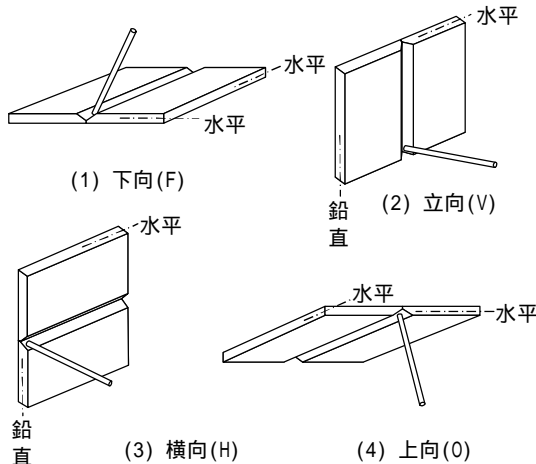


図1 板の溶接姿勢

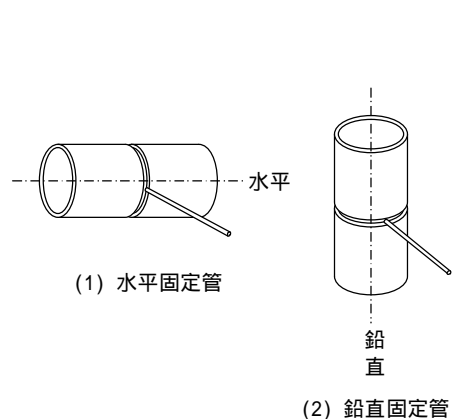


図2 管の溶接姿勢